

本城山

関市立富野小学校 学校だより
令和4年 2月25日発行
関市西神野270-1
TEL 0575-29-0005
FAX 0575-29-0596

小規模校の良さを生かす！

富野小学校 校長 柘井 秀敏

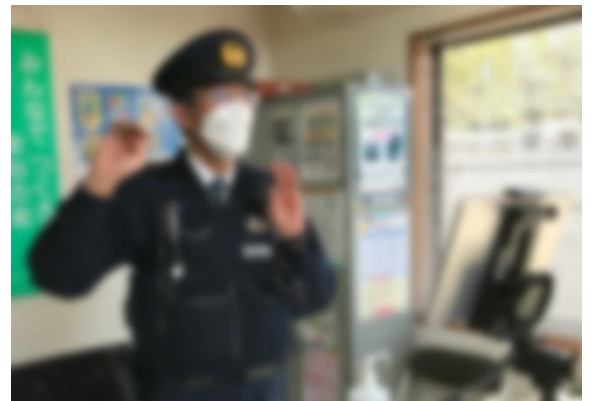
昨年の3月24日に発行した学校だより、「朝の来ない夜はない」「春の来ない冬はない」「今は我慢の時で、この我慢の時がいつまで続くのかはわからないが、決して終わりが無いわけではない、マスクを外す時はきっとやってくる、と信じて頑張っていこう」と書きましたが、未だに終わりが見えず、我慢の時が2年間続いています。

夢を持って短大に進学したのだが、入学式もできず、マスク着用のためほとんどの人の素顔を見ることもできず、新しい友達も一人もできず、授業もオンライン主体でほとんど学校にも行けず、卒業式すらできないかもしれない。私の2年間は何かだったのか。この2年間で私にどんな力がついたのか不安だ。

先日の岐阜新聞に今年短大を卒業する学生の話が載っていました。

まさに“心の叫び”だと思いながら読みました。2年間という時間は誰にとっても同じ長さではありますが、人生のどの位置の2年間なのかで意味が大きく違ってくると感じました。

人生80年の時代に突入していますが、小学校の6年間は人格を形成するのに重要な期間だと考えます。様々な活動をする中で生きる力、社会性を身につけていきます。もちろん学力の基礎を作るのもこの時期です。この大切な時期に、子ども達の学ぶ機会をできるだけ確保したいと考えています。富野小学校は一番多い学年が5年生の21名です。一番少ないのは1年生の6名です。小規模である良さをこんな時こそ活用したいです。先日まで縄跳びの取組をなかよしグループで行いました。原則学年をまたいだ活動は自粛していますが、なかよしグループでの活動は本校が大切にしている活動の一つなので、運動をいっぱいを使い、ラインを引いて区分けをすることで密にならないように気を付けながら行いました。また、例年行っている3年生の駐在所訪問も、今年は駐在所と教室をインターネット上でつないで行いました。



【駐在所で児童の質問に答える江間さん】

まん延防止等重点措置は3月6日まで延長されましたが、感染防止に十分配慮しながら、また小規模校の良さを生かし学習形態を工夫しながら学習活動を進めていこうと考えています。

令和3年度卒業証書授与式について

「すぐる」でもお知らせしましたが、3月24日（木）に実施する卒業証書授与式を以下のように変更します。よって、1～5年生は休業日となります。

◇卒業生1名に対し保護者1名参加 ◇在校生、来賓の参加は無し ◇1時間以内での実施

3月の行事予定

日	曜	行事等
2	水	いきいきタイム
4	金	PTA 紙上総会
7	月	家庭学習頑張り週間（～11日）
8	火	通学班会
9	水	いきいきタイム・ジャンボカルタ大会
10	木	委員会
11	金	6年生感謝の会・ストーブ片付け 本貸出終了
15	火	安全点検日・図書の本返却
16	水	児童集会・図書の本返却 いきいきタイム・代表委員会 ありがとうの会（予定）
21	祝	春分の日
22	火	いきいきタイム
23	水	卒業式準備⑥ 5年フラワーアレンジメント
24	木	卒業証書授与式
25	金	修了式・離任式
28	月	学年末・学年始休業日（～4/6）

新型コロナウイルス感染症の状況によって、変更になることがあります。ご了承ください。

4月の主な行事

- 7日（木） 始業式・入学式
- 23日（土） 授業参観・PTA 総会・学級懇談会
- 25日（月） 振替休業日



—コロナ禍でも工夫次第で—

新型コロナウイルス感染症は、オミクロン株へと置き換わり、ますます拡大しています。岐阜県は、まん延防止等重点措置が3月6日まで延長され、学校生活にも様々な規制が施されています。

そんな中、いろいろなことができないと嘆いているばかりではなく、工夫して学びを保障する取組を模索しています。

3年生は、2月8日（火）前述のように、タブレットを利用して、駐在所見学を行いました。14日（月）には、中止になった「昔の道具」出前講座を何とか体験させようと、関市文化財保護センターで民具を借りて、担任が授業をしました。

4年生の理科では、グループで集まって実験ができないので、教師用机で演示実験を行い、それを、タブレットに映してじっくり観察しました。

制限されることはたくさんありますが、ICT 機器を活用したり、やり方を工夫したりして、学習を進めています。



—畑の柵が新しくなりました—

1～3年生が、野菜や花を育てている畑に会った柵がかなり老朽化しており、危険でした。予算の関係でなかなか直せなかったのですが、2月15日（火）にやっと直すことができました。

最初は、職員が直そうと思っていたのですが、知り合いの大工さんをお願いして、とても立派に生まれ変わりました。やはり、プロの仕事は素晴らしいです。子どもたちがけがをしないように、木材を処理して、強度も十分に作っていただきました。途中、3年生が様子を見に行くと、ねじ止めや材木の切断を手伝わせてもらったり、作業を見せてもらったりしました。大工さんに褒めてもらうとみんな嬉しそうでした。

この後、腐食防止用のペンキを塗って完成させていきます。この時も、3年生には手伝ってもらいます。「自分たちが整備した畑」として自慢してほしいなと思います。